



東京都立鹿本学園 学校通信 令和6年3月15日号

東京都立鹿本学園

校長 高橋 馨

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

学びの虹



感謝と希望 ～旅立ちの日～

沈丁花の香りや、雪柳の白さを感じる季節になりました。3月に入り、今年も校内にはたくさんのお桜の装飾が飾られています。一年間の学習の振り返りと成果、そして4月からの新しい生活に向けた期待と不安、卒業する先輩への思い。子供たちの思いが詰まった桜の花びらが校内をピンク色に染め上げています。今年度も、保護者、地域・関係機関の皆様を支えられ、子供たちによる満開の桜と共に卒業の季節を迎えられることを心より感謝申し上げます。

さて、今年度は創立10周年という節目の年でもありました。記念式典では、生徒会長からの「未来に向けた決意」の言葉と、児童・生徒全員による式歌「未来につなげ」を披露しました。また、式典後には児童・生徒全員で500個の風船を空へ放つ「バルーンリリース」も行いました。鹿本学園を支えてきてくださった多くの方に、子供たちの「感謝」と「未来への思い（希望）」を伝えることができたと感じております。当日は、PTA会長・役員を中心に多くの保護者の方にも御協力いただきました。ありがとうございました。

開校10年目を終えた本校は子供たちが進学や進級をするように、4月からは20周年に向けた次のステージへと歩みを進めます。先日の全校保護者会で、次年度の年間予定をお示しさせていただきました。コロナ禍を乗り越えた後も、私たちは society5.0や情報化・DXによ

る生活環境の変化、Z世代という言葉に表されるコミュニケーションや関わり方の変化、さらには労働人口の減少による人手不足など、経験したことの無い、見通しの持ちづらい時代を進んでいくと言われていています。こうした社会状況やニーズの変化に対応するために、学校の教育活動も変化してまいります。400名を超える保護者に協力いただきました学校評価の結果や寄せられた御意見を基に、止めるもの、縮小するもの、新たに始めるもの、更なる変更を行うもの等、学習活動の改善・充実に向けた変化を進めてまいります。その中には、児童・生徒増への対応により変わるものもあります。しかしながら、変化を進める一方で変わらないものもあります。校訓『向学虹輝』に込められた思い～子供たち一人一人が輝かしい未来をつかむために『日々の学びと真剣に向き合う』～。この思いは変わることなく、この積み重ねを大切に学習活動を継続してまいります。一年間、ありがとうございました。令和6年度も、よろしくお願いいたします。

離任式に代わるもの、として

令和6年4月1日付け教職員人事異動について、3月19日（火）の朝刊で公表が予定されています（都教委HPは10時）。これを受け、本校は3月25日（月）の修了式の中で、離任する教職員から児童・生徒に挨拶をさせていただくこととしました。保護者の皆様にも、修了式参観の御案内をいたします。小学部は4、5年、中学部・高等部は全生徒が修了式に参加する予定です。直前での御案内となり申し訳ありませんが、お子様の様子を参観する機会としても御活用いただければ幸いです。詳細については別途送付します御案内を御覧ください。

鹿本学園校長 高橋 馨

部門間交流について

今年度の部門間交流は、「自由交流」と「ポッチャ交流」を各学習グループ、学級が選択できるようにして実施しました。

◎自由交流

自由交流を選択した学習グループ、学級は交流相手と日時・内容を決めてお互いに好きなテーマで交流をしました。自己紹介、ポッチャ、ダンス、ボウリングなどを行って交流を深めました。交流して数日後、廊下などですれ違った際に「〇〇さん！」と名前を呼び合うなど、今までなかった光景が見られるようになってきました。

◎ポッチャ交流

ポッチャ交流を希望した学習グループ、学級は39チーム。今年度から交流方法をリーグ戦とし、このリーグ戦で1位になったチームだけが参加できる決勝トーナメントも計画しました。サッカーW杯のように対戦相手抽選会も実施し、準備の段階から大盛り上がりです。各チーム練習を重ねて試合に臨み、勝利を目指して頑張りました。試合なので勝敗がついてしまうのですが、お互いの投球時に「頑張れ!」「すごい!」「おいしい!」などの声援を送り、部門間を越えたとても良い交流となりました。

決勝トーナメント決勝戦は、S小C学習グループ vs S中C学習グループの対戦になりました。会場となった多目的ホールには、それぞれの学部の仲間が応援に来てくれて大盛り上がりとなりました。大熱戦の結果、S部門中C学習グループが優勝。おめでとうございます!この大会をとおして、S部門、N部門、お互いの良さを知ることができ、貴重な機会になったと思います。

学びの虹が光り輝き、笑顔あふれる素敵な交流が来年も実施できるようにしてまいります。

部門間交流担当 増山陽介

